



2022 年度
第 9 号

体育市民連帯 ニュースレター

1
コロナで
低体力学生の増加
学校体育の活性化に
129 億ウォン支援



2
勉強もできる
選手を育てる
中学、高体育特技者の
学生簿反映を高める



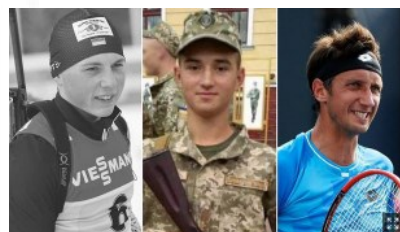
3
パラリンピック
IPC 委員長
「五輪休戦を守れ」
変化はスポーツから始まる



4
享年 22 歳、
脳出血で入院治療中に死亡
女子バスケットボール
スター



5
ウクライナ、
スポーツ選手
相次いで戦死
「それでも戦う」



大韓民国スポーツの
根本的変化を
皆さんと共に
作って行きたいです
体育市民連帯と共に
していただけますか？



01 ニュース 12022.03.03

コロナで低体力学生の増加…学校体育の活性化に 129 億ウォン支援



コロナ19の長期化で学生の体力が低下することに対応して、政府が今年、学校体育教育の活性化に129億ウォンを支援する。学生選手の人権保護のために深刻な学校暴力加害行為をしたり、物議をかもした学生選手は今年から中・高入学体育特技者選抜から除外される。

教育部は3日、こうした内容を盛り込んだ「2022年学校体育活性化推進基本計画」を確定・発表した。コロナ19の長期化で減った身体活動と健康体力の回復に向けて、5つの重点課題39の細部課題に特別交付金129億ウォンを支援する。

細部課題別には「学校スポーツクラブ運営体系化および質の向上」に最も多い92億4900万ウォンを支援し、「学校体育教育運営充実」に33億4600万ウォン、「自己主導的未来型体育人材育成」に2億9600万ウォンを支援する。

◇コロナ以降、低体力生徒の割合 12.2→17.7%に増加

コロナ19の長期化で体育授業がまともにできず、身体活動も減っていることから、低体力学生の割合も増加傾向にある。2019年は12.2%だった低体力生徒の割合は、20年は17.6%へと伸びたが、21年は17.7%へとさらに増加した。

いつでもどこでも体育活動ができるようにオン・オフライン未来型体育授業とオーダーメイド型身体活動支援を強化する。オン・オフラインブレンド体育授業を支援するため、上半期まで「学校体育教育総合ポータル」を構築する。

学生の遂行を分析して動作に対するフィードバックを提供する「動作分析アプリ」を開発し、11月から授業に活用する。また、学校級別、体力級数別オーダーメイド型プログラムを開発し、生徒水準別の身体活動ができるように支援する予定だ。

学校スポーツクラブ運営の活性化のため、運営モデルとプログラムを多様化する。学校-地域連携学校スポーツクラブ運営協力モデルを開発し、公共スポーツクラブと連携するなど、様々な方式の地域連携学校スポーツクラブ基盤を構築する。学校スポーツクラブと対面・非対面リーグ・国体との連携も強化する。

学生選手の学習権を保護するため、小学校段階から学習欠損を支援する。中学・高校生選手の学習支援のために運営している「e-スクール」を小学生選手に拡大し、今年から24年まで毎年、学校級・水準別プログラムを開発する予定だ。

学生選手に合わせた進路支援も拡大する。オンライン・オフラインで訪れる「進路メンター相談制」を毎年拡大する。体育高校を対象に体育進路中心の教育課程を設け、学生選手に多様な進路開拓の機会を提供

する。今年モデル運営を皮切りに、24年には全国15の体高だけでなく、学校運動部を運営する学校に拡大する。

◇校内暴力加害生徒選手と運動部指導者懲戒強化

学校運動部の暴力を根絶し、生徒選手の人権保護のため、校内暴力の加害生徒に対する措置も強化される。昨年11月から校内暴力の加害生徒選手は措置の結果によって最低3ヵ月から1年まで大会参加と選手登録を制限している。性的嫌がらせで退学処分となった選手は5年間、性的暴行で退学処分となった選手は10年間、選手登録や参加ができない。

これに加え、今年からは校内暴力加害行為で転校(8号)や退学(9号)措置を受けた学生選手は中高入学体育特技者選抜から除外する条項を「中高入学体育特技者選抜規定」に新設する。校内暴力加害生徒に対する措置1号(書面謝罪)から7号(学級変更)までに対する制限基準は市・道教育庁が自主的にまとめるよう勧告した。

7~8月に実施していた学生選手暴力実態調査は今年から5~6月に実施し、7月に結果を発表する予定だ。調査信頼度を高めるため、実態調査の質問項目を精巧化する。学校運動場の死角地帯、体育館、指導者室、寮など全体の学校体育施設の37.6%に設置された防犯カメラも、今年は設置率を45%に拡大し、来年は55%に高める計画だ。

運動部指導者の暴力に対する懲戒も強化する。現在、7つの市・道で適用中の「学校運動部指導者懲戒量定基準」が今年、全国17の市・道に拡大される。運動部指導者の暴力事案が一貫して厳正に処理されるようにするためだ。

性的暴行を犯した指導者は無条件に解雇する。セクハラをしたり、性的暴行を幫助・黙認した場合も、不正の程度がひどく、重過失があった場合は解雇される。本人の暴力行為だけで、暴力行為を幫助・黙認してもひどい場合は、最小減給で最大解雇懲戒を受ける。

出典：<https://www.news1.kr/articles/?4603492>

02 ソウル新聞 2022.03.03

勉強もできる選手を育てる…中学、高校体育特技者の学生簿反映を高める



中学・高校入学の体育特技者選考で学生簿の最低反映率が上昇し、学生選手の大会・訓練を理由にした出席認定欠席許容日数が減る。

教育部は学生選手の学習権保障制度を強化する内容を盛り込んだ「2022年学校体育活性化推進基本計画」を確定・発表した。5つの

重点課題と39の細部課題を推進するために特別交付金約129億ウォンを編成した。

今回の計画は、学生選手の学習強化に焦点を合わせた。まず、学校体育振興法施行規則上、生徒選手が到達しなければならない最低学力制教科と成績基準を研究し、今年下半期頃、現実に合わせて修正する。最低学歴制に到達する生徒選手の参加制限大会の規模と範囲を規定する根拠も用意する。

中学・高校入学の体育特技者選考制度にもメスを入れる。現在30%前後となっている学生簿の最低反映比率を40%以上に上方修正するか、最低学力基準を適用する計画だ。学生選手の大会訓練参加出席認定欠席

の許容日数も段階的に削減する。 昨年は小学生は10日、中学生は15日、高校生は30日だったが、今年それぞれ、5、12、25日に減る。

学生選手が正規の授業を受けられない場合、学習を支援する「eスクール小学生プログラム」を新設し、中・高校生プログラムを拡大する。 現在、eスクールは中学校72科目、高校124科目が開設されており、生徒選手がコンピューターやタブレットPC、スマートフォンで学ぶことができる。 授業欠損2時間にeスクール1時間の受講を義務付ける。

一般学生の体育教科教育を強化するため「学校体育教育総合ポータル」を構築し、学校体育授業資料、スポーツクラブ運営資料、教員・指導者研修資料などオンライン・オフラインコンテンツを体系的に支援・管理する。 今年上半期にプラットフォームを構築し、下半期に活用する計画だ。

小学校1～6年生を対象とする生存水泳教育を生存・構造・泳法中心の実技教育から生存機能中心の理論・実技教育(10時間以上)に強化する。 実技教育は、教室や体育館などで浮力や体温維持を体験できる浴槽などの設備を活用し、感染症の拡大などでプールの利用が難しい場合は、学校内の移動式生存水泳教室の運営を勧める。

単位学校以外にも地域拠点型の学校スポーツクラブを運営し、学校スポーツクラブと対面全国学校スポーツクラブ祝典(11月)、非対面祝典(9月)を連携・運営して参加を活性化する。

中央省庁・関係機関の「体育政策協議体」と「学校体育教育討論会(フォーラム)」を新設し、定例的に運営する。 中央・市・道単位の学校体育支援団を運営することにより、現場性の高い学校体育教育支援基盤を構築する計画である。

ユ・ウンヘ副総理兼教育部長官は「すべての学生が多様な身体活動を通じて健康体力を増進し、生活の中でスポーツを楽しみながら未来人材に成長できるよう関係省庁・機関とともに持続的に協力・支援していく」と述べた。

出典：https://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20220303500115&wlog_tag3=naver

03 聯合ニュース 2022.03.04

パラリンピック IPC 委員長「五輪休戦を守れ」変化はスポーツから始まる



国際パラリンピック委員会(IPC)のアンドリュー・パーソンズ委員長が2022北京冬季パラリンピック(パラリンピック)の開会式で「平和」と「反戦」を強調した。

パーソンズ IPC 委員長は4日午後8時(現地時間)、中国北京の国立競技場で開かれた北京冬季パラリンピック開会式演説で「多様性を賛美し、違いを包容する組織のリーダーとして、今世界で起きていることは衝撃的」とし「21世紀は戦争と憎悪ではなく対話と外交の時代」と述べた。

ロシアのウクライナ侵攻に反対する声を出したのだ。

パーソンズ委員長は「オリンピック・パラリンピック期間の平和のための“オリンピック休戦”は国連で合意して採択した決議案であり、違反せず尊重され守られなければならない」と力を込めて述べた。

IPCはパラリンピック開幕を翌日に控えた3日、ロシアとベラルーシ選手団のパラリンピック出場を禁止すると発表した。

2日までもロシアとベラルーシの「中立国選手資格」での出場を認める計画だったが、他国の激しい反発にあい、IPCは結局、出場禁止を決定した。

ウクライナは、侵攻による混乱の中でも、選手20人とガイド9人を今大会に出場させた。

ウクライナ選手団は開会式で46カ国のうち4番目に入場した。

場内にウクライナの国名が呼ばれ、選手らが国旗を振って舞台に出ると、観客席からはしばらく拍手と歓呼が沸き起こった。

パーソンズ委員長をはじめ一部は席を立ち、拍手で彼らを迎えた。

選手団入場が終わった後、演説台上に上がったパーソンズ委員長は「今夜、私は平和のメッセージから始めようと思う」と述べた。

彼は「IPCは差別と憎悪、無知と葛藤から脱し、より良く包容的な世の中を熱望する、北京では46ヶ国のパラリンピック選手たちが互いに競争するのではなく、共に競争するだろう」と述べた。

続いて「パラリンピアンは相手が敵になる必要はなく、連帯すればより多くのことを実現できるということを知っている、世界は分裂ではなく分かち合いの空間でなければならない。変化はスポーツから始まる。和合をもたらすだけでなく、国民、都市、国家の暮らしを変化させる起爆剤になれる」と力を込めて述べた。

演説途中には両拳を握って「平和 (Peace) !」と叫んだ。これに対し、観客席からは拍手と歓声が沸き起こった。

4日、開会式で幕を上げた北京冬季パラリンピックは、13日まで中国北京と延慶、張家口で行われる。

46ヶ国を代表する選手たちが6種目78の細部種目で熱い競争を繰り広げる。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220304179600007?input=1195m>

04 ウィキツリー 2022.03.05

享年22歳、脳出血で入院治療中に死亡 女子バスケットボール・スター



女子プロバスケットボールKB国民銀行スターズ所属選手のソン・ガヒが死亡したという。享年22歳だ。

KBスターズは5日、公式ホームページで「誰よりもバスケットボールを愛し、大切な夢と情熱を持っていたソン・ガヒ選手が4日未明にこの世を去った」と発表した。

球団によると、ソン・ガヒは先月11日、脳出血の症状を示し、当日応急手術を受け、その後最近まで重患者室に留まった。

KBスターズは「詳細を事前に共有できなかった点、愛する家族を失った遺族の立場でどうか理解してほしい」と述べた。

「葬儀も遺族の意向に沿って行う予定であり、球団は支援に万全を期す」とし「残念なニュースを伝えることになり心が痛み、選手・スタッフ共に大きな悲しみの中で哀悼している。謹んで故人の冥福を祈る」と述べた。

2000年生まれの故人は崇義女子高校出身で、2019年新人ドラフト2ラウンド1位でKBスターズに入団した。2021-2022シーズンは7試合に出場し平均0.9点、1.1リバウンドを記録した。

出典：<https://www.wikitree.co.kr/articles/736850>

05 朝鮮日報 2022.02.14

ウクライナ、スポーツ選手相次いで戦死...「それでも戦う」



エフゲニー・マリシェフは2年前、ウクライナ青少年代表を務めたバイアスロンの有望株だった。冬季スポーツのバイアスロンはクロスカンリースキーと射撃を結合した種目だ。一時、五輪の金メダルを夢見て銃を取った彼は、銃を持ってロシアの侵攻に立ち向かい、ついに命を失った。

ウクライナバイアスロン連盟は最近、「軍に服役していたマリシェフがハルキウ戦闘で死亡した。深い哀悼の意を表し、永遠に記憶する」と明らかにした。2002年生まれのマリシェフは20歳の誕生日を2ヵ月後に控えてこの世を去り、悲しみを募らせた。

ウクライナの若いサッカー選手2人も最近相次いで死亡した。国際サッカー選手協会（FIFPro）は、「ヴィタリー・サピロ（21）とドミトロ・マルティネンコ（25）の家族や友人、チームメイトに哀悼の意を表す」と発表した。

カルパティ・リヴィウのユースチーム出身のサピロは、戦車乗務員として志願入隊し、先月、首都キエフ近郊で行われたロシアと交戦で死亡したという。マルティネンコはキエフ近くの自宅でロシア軍の爆撃を受け、命を失った。

ウクライナがロシアの侵攻に決死抗戦で対抗している状況で、スポーツ選手たちも祖国を守るために続々と出ている。北京冬季五輪でスケルトン競技を終えた後、「NO WAR IN UKRAINE（ウクライナで戦争はできない）」という紙を持って見せたスラフ・ヘラスケビッチ（23）は最近、外信とのインタビューで「軍に服役した経験はないが、どんなことでもする準備ができています」とし「キエフに入って都市を守る」という。

56歳のサッカー監督も銃を持った。ユーリ・ベルニドゥブ監督は昨年、UEFA（欧州サッカー連盟）チャンピオンズリーグで、「サッカーの辺境」モルドバのティラスポール・シェリフを率いてスペインの名門クラブ、レアル・マドリードを破って世界を驚かせた主人公だ。彼は指揮を一時的に辞め、予備軍に加わった。男子プロテニス（ATP）ツアーで優勝4回したセルゲイ・スタコフスキー（36）は「これまでラケットばかり握ってきたが、銃を持って全身を捧げて自分の国を守る」と予備軍に入隊した。

ウクライナは数多くのチャンピオンを輩出したボクシング強国だ。一時代を風靡したボクシング英雄たちも、先を争って戦場に出ている。バシル・ロマチェンコ（34）は2008・2012五輪で2連続金メダルを獲得した世界的なボクサーだ。プロに転向して3階級を席卷した彼は、故郷を守るため領土防衛隊に入っ

た。 ロンドン五輪金メダリストであると同時に現ヘビー級統合チャンピオンのオレクサンドル・ウシク (35) もプロ生活をしばらく中断してウクライナに帰ってきた。

ヘビー級歴代最強のボクサーとされるヴィタリ・クリツコ (51) は現在、キエフ市長として最前線でロシアに立ち向かっている。 2014 年からキエフ市長職を務めているクリツコは同盟国のさらなる支持を訴え「ウクライナ国民は民主主義のために戦っている」と述べた。 10 年以上、兄ビタリと世界ヘビー級を二分した弟のウラジミール・クリツコ (46) も先月早くから予備軍に合流した。

出典：

https://www.chosun.com/national/people/2022/03/03/IEPVM3VYZVHGRGKWR5XCX26Q2Q/?utm_source=naver&utm_medium=referral&utm_campaign=naver-news

06 週刊スポーツニュース

大田市民の宿願、西南部スポーツタウン建設「青信号」

<https://www.cctoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=2157883>

ハンソム、スポーツコンテンツ会社に 53 億ウォン投資「MZ 世代コンテンツ開発」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220307037100003?input=1195m>

慶州、冬季スポーツトレーニング地として脚光を浴びる

https://www.pressian.com/pages/articles/2022030620100732316?utm_source=naver&utm_#ODKU

光州の公共スポーツクラブに活気 昨年 31 万 9000 人が参加

<https://www.newsl.kr/articles/?4606830>

高敞郡、スポーツ施設の最新化で攻撃的スポーツマーケティング

<http://sjbnews.com/news/news.php?number=738342>

「ヒョチャン」「パク・ボンシク」「ヒャンウオンジョン」…スポーツの歴史に込められた都市ソウルの姿は？

<https://www.khan.co.kr/local/Seoul/article/202203071115001>

[キム・セフンのスポーツ IN] スポーツベッティング活性化政策が必要だ

https://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202203061512023&sec_id=530101&pt=nv

清州市、スポーツメッカを夢見る各種国際・全国体育大会誘致

<http://www.joongdo.co.kr/web/view.php?key=20220306010001062>

国際大会で退場したロシアサッカー、スポーツ仲裁裁判所に控訴

https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1006663559&plink=ORI&cooper=NAVER

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー (資料室) <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>